

通期業績目標の修正および期末配当予想の修正について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざお ひろのり} 亀澤 宏規）は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月17日に開示した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の「親会社株主に帰属する当期純利益」目標および1株当たり期末配当予想を修正しましたので、お知らせいたします。

1. 通期業績目標の修正

(1) 2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）

	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表目標（A）	8,500 億円
今回修正目標（B）	10,500 億円
増減額（B-A）	2,000 億円
増減率	23.5%
前期実績（2021年3月期）	7,770 億円

(2) 修正の理由

顧客部門の堅調な業績の進捗に伴い、業務純益で期初想定比約 500 億円の増加を見込むほか、与信費用では上期にポートフォリオの変動や経済指標見通しの改善等に伴い戻り益を計上したことを踏まえ、期初想定比約 2,000 億円の費用減少を想定しております。

加えて堅調な株式相場を背景とした株式関係損益の増加や、持分法適用関連会社である Morgan Stanley に関わる持分法投資損益など計約 1,500 億円の増加もあり、合計では経常利益で期初想定比 4,000 億円の増加を想定しております。

一方で、今年度末に向け検討中の経営管理高度化と統合的な減損判定方法の適用に伴い、現時点では▲1,500 億円程度の固定資産減損損失が発生する可能性があること等を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益の業績目標を 2,000 億円上方修正し、10,500 億円とするものです。

期末配当予想の修正

(3) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	13円50銭	13円50銭	27円00銭
今回修正予想		14円50銭	28円00銭
当期実績	13円50銭		
前期実績 (2021年3月期)	12円50銭	12円50銭	25円00銭

(4) 修正の理由

当社は、資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討した上で、配当を基本として株主還元の充実に努める方針としております。配当につきましては、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、2023年度までに配当性向は40%への累進的な引き上げをめざしてまいります。

この方針に基づき、今回の通期業績目標の修正を踏まえて、2022年3月期の期末配当予想を直近の1株あたり13円50銭から14円50銭に修正いたします。これにより、中間配当と合わせた2022年3月期の年間配当金予想は、1株あたり28円00銭となります。

以上

(照会先)

三菱UFJフィナンシャル・グループ 広報部 03-5218-1815

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通しなどの将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通しなどを作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来そのとおりに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。